

『熊本市優待証（「さくらカード」）』及び『おでかけ乗車券』のICカード対応について

資料3

平成26年9月4日 熊本市健康福祉政策課

I はじめに

★現在、『熊本市優待証(以下、「さくらカード」)』利用者の方は「T○熊カード」と同じプリペイド方式である「おでかけ乗車券」等にて公共交通機関を利用されています。

★しかし、「交通系ICカード」導入により、今後、「T○熊カード」同様「おでかけ乗車券」も使用できなくなりますので、その対応についてバス・電車事業者及び関係機関の方々にもご協力いただき検討・協議を行ってまいりました。

★本日、これまでの協議・検討を踏まえました熊本市の取り組み方針につきまして、ご説明させていただきます。

(参考)「おでかけ乗車券」の概要

障がい者用(1割負担カード)	高齢者・被爆者用(2割負担カード)
購入金額：500円で5,000円分乗れます	購入金額1,000円で5,000円分乗れます

(※1)「さくらカード」(上段の横長カード)を降車時に運転乗務員の方へ提示しつつ、「おでかけ乗車券」(下段の縦長カード)をT○熊カード読取車載機に通して運賃決済を行います。

(※2)「さくらカード」の交付者数は85,440人(H26年4月末時点)です。制度対象者(70歳以上高齢者、被爆者、障がい者)は135,907人いらっしゃいますので、交付率は62.9%です。

(※3)平成25年度の高齢者の「さくらカード」・「おでかけ乗車券」利用件数(乗車回数)は538万5千件で、利用運賃総額は9億6千万円となっています。(概数)

(※4)1人あたりの平均利用は、①乗車回数74回/年、②利用金額178円/1乗車となっています(平成25年度)。

II 方針決定に向けて

1 「基本スタンス」(6月定例市議会「福祉子ども委員会」説明資料)

★利用者の利便性を確保し、導入(切り替え)に際しては可能な限り混乱をきたさないよう努める

2 「協議・検討」状況

- ①バス・電車事業者との作業部会…3回(3/26、4/30、7/8)
 - ・別途、議事録・資料の送受信、アンケート調査等のやりとりも有り
- ②開発業者等関係機関との協議…9回(4/3~7/2、バス事業者同席回含む)
 - ・熊本市からの見積もり依頼
 - ・開発2業者からの見積もり提示
- ③庁内関係部署との協議…適時、複数回
 - ・交通政策総室、社会保障税番号制度推進室 等との連携
- ④交通事業者へ熊本市の方針説明…8月12日(乗合業務委員会)

3 「前提」(「基本スタンス」との両立)

- ①「さくらカード」は熊本市独自の福祉制度であり市域を超えたサービスはできないこと。
- ②2種類の「交通系ICカード」が導入されること。
- ③公共交通の「定時性」を阻害し、また、「不正乗車」に繋がるような変更は行わないこと。

4 「比較検討」

①考えられるカード所持形態

	1枚目	2枚目	3枚目
パターン1 (1枚もち)	「さくらICカード」 (身分証明機能+運賃決済機能)	/	
パターン2 (3枚もち)	「さくらカード(紙)」 (身分証明機能のみ)	「地域振興ICカード」	「市電ICカード」
パターン3 (2枚もち)	「さくらカード(紙)」 (身分証明機能のみ)	どちらかのICカード (全ての公共交通機関で使えることが前提)	

※開発2業者との初期協議の中で、パターン1の場合、

- ・ICカードへの写真印刷は可能だが申込後の作成に約3ヶ月かかる。

※収納ケースを配布することで、「さくらカード」と「ICカード」の一体化は可能であり、以下の3つの形態での比較検討を行う

②考えられる導入形態 (以下、3つの形態それぞれに開発業者からの見積もり等を受領)

形態1【運転士決済】	形態2【カード決済】	形態3【倍額チャージ】
2種類の「交通系ICカード」をそのまま使用し、運転乗務員の方が運賃決済時(降車時)に、手動(ボタン操作)で割引操作を行う方法	「交通系ICカード」に割引機能を持たせ、車載器にかざした時に負担割合に応じた料金で決済を行う方法	「交通系ICカード」へ入金の際、入金額の5倍若しくは10倍のチャージを行い、降車時には通常料金を決済する方法

Ⅲ 大枠の方針

1 所持形態

「利用者証（「さくらカード」）」と「乗車券（「ICカード」）」は別々に作成する。

2 使用方法（「パターン3」+「形態2」）

「地域振興ICカード」をベースとし、「ICカード」そのものに割引機能を持たせ、降車時に「さくらカード」を提示しつつ車載器にかざす。入金額＝チャージ額とし、商業利用も可とする。

3 運用開始

「運用開始」は平成28年3月。それまでの間、現行の「さくらカード」の有効期間を1年間以上延長し、一斉更新と「ICカード」配布を同時に行う。対象者へは、個別にハガキによる通知を行うとともに、市政だより等により周知を行う。

4 予算措置について

平成26年9月補正予算（案）に計上。平成26年度から平成27年度にかけてシステム開発を行う。

【予算要求額】

H26執行額 42,500千円、 H27執行額（債務負担） 100,600千円

☆ おでかけ乗車券の使用期間について(熊本市からの依頼)

プリペイドカード読み取り車載器については、今後、設置期間等の方針が示された後、設置期間の延長等、依頼・協議を行わせていただきたいと思います。

※想定スケジュール（熊本市健康福祉政策課）

年度 月	平成26年度			平成27年度									平成28年度														
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
①開発スケジュール		契約					開発作業													開始							
②ICカード乗車券																			交付		併用期間						
③さくらカード更新							期限		更新延長											更新							
④おでかけ乗車券																					併用期間						
⑤プリペイド方式 (To熊カード)										併用期間(未定)																	

※方針決定に際しての主なポイント

- パターン2 2種類の交通系ICカードを重ねて使用した場合、読取に支障をきたす可能性が高い
- 形態1 交通機関の定時運行への支障や、開発費以上にランニングコストがかかることが想定される
- 形態3 商業系での使用ができない